



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和2年9月8日
養父市立大屋中学校
学校だより 第12号
TEL 079-669-0111

体育祭、そして修学旅行へ

9月5日(土)、9時20分。

素晴らしい秋空のもと、予定より20分遅く、令和2年度の体育祭開会の号砲が勢いよくグラウンドに鳴り響きました。

前日の午後は、叩きつけるような雨のせいで、本来行はずの生徒たちの前日準備が全くと言っていいほどできませんでした。豪雨の中、PTA役員の方々をはじめ保護者の皆様には、十数基にも及ぶテントを組み立てていただくとともに、グラウンドへの設置までしていただきました。ともに作業をしながら、頭の下がる思いでいっぱいでした。ありがとうございました。

作業中、生徒の下校と重なりました。生徒たちが昇降口から三々五々出てきて、私たちの作業のそばを「さようなら」と言いながら通り過ぎていきます。そんな中、「ありがとうございます」という生徒の声が聞こえました。「今のは誰?」と思ってすぐに顔を上げましたが、強い雨のせいでわからないまま。でもその言葉のおかげで、ほっと温かくなり、作業に取り組むことができました。

「コミュニケーション能力の育成が大切である」と言われ、ぺらぺらと饒舌にお話しできることがよさそうに言われますが、この「ありがとうございます」のように、場をとらえ、相手の立場に立って相手の心にしっかりと届く言葉を発することのできる力こそ、「コミュニケーション能力」というのではないかと、作業をしながら感じ入っていました。そんな生徒たちが本校にいることを本当にうれしく思えたシーンでした。

体育祭当日。前日とは打って変わって、暑すぎるくらいの天気の中、生徒たちはしっかりと体育祭を創りあげてくれました。

生き生きとにこやかに、そしてキリッと動く一人一人の姿。それらがひとつにまとまった集団としての凛々しさと力強さから、大屋中の生徒らしい前向きでひたむきな心意気を随所に強く感じることができました。

今年度初めて取り組んだ「ブロック・パフォーマンス」。両ブロックとも素晴らしい仕上がりでした。その雄姿が自作の応援パネルに映え、さらに引きつけられるものになりました。

体育祭をやって本当によかったと思います。こんなにも素晴らしい生徒たちの姿を見ることができ、応援することができたのですから。コロナ禍と言われますが、適切に対応しながら、生徒たちのさらなる成長のために工夫して教育活動に取り組んでまいりますので、今後ともご支援よろしく願いいたします。

次は修学旅行。体調管理に留意し、思い出深い旅行にしたいと思っています。

スナップショット

令和2年度
体育祭



修学旅行に行ってきます

当初5月27日(水)～29日(金)に東京方面での行程で予定していた修学旅行を、いよいよ来週9月16日(水)～18日(金)に実施します。方面も変更して、京都→三重→滋賀を巡る3日間です。

京都では、二条城や御所等の歴史的建造物を訪ねたり、昨年度本校で講義いただいた中尾一和先生に京都大学を案内いただいたり、東山を清水寺まで散策したりします。また、養父市出身で琵琶湖疎水を築いた第3代京都府知事の北垣国道を訪ねて、南禅寺や水路閣、記念館を訪れます。

三重では、ナガシマスパーランドを中心に活動します。滋賀では、彦根城や安土城を訪ねたり、琵琶湖を展望したりします。

新型コロナウイルス感染症拡大予防策として貸切バスでの移動となります。各訪問先で3密の回避や消毒などに努めながら、修学旅行に行ってまいります。

コロナ禍と言われるこんな時期だからこそ、生徒たちにとって安心・安全で思い出深い旅行としたいと、関係の旅行社等とともに万全を期して臨んでいます。



< お礼 >

8月30日(日)での大屋小中学校PTA合同資源回収・親子奉仕作業では、まさに「猛暑」という言葉どおりの暑い中、大変お世話になりました。

資源回収は、例年第1回目を5月下旬に実施するはずでしたが、年度当初の臨時休業のために中止となり、そのまま今回の第2回目を迎えたため、かなりの回収量になり、予定の時間を越えての作業となりました。にもかかわらず、引き続きの奉仕作業では、校地内の草刈りや剪定、側溝の泥上げ、校舎内の窓ふきなど、細やかに作業をしていただきました。

おかげをもちまして、地域の皆様の資源回収へのご協力にお応えすることができました。また奉仕作業では、教職員が普段なかなか手の届かない箇所を作業していただき、校地が一層すっきりと広々となりました。体育祭が気持ちよく、盛大にできたのも、こうした作業のおかげと改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。